

逆異世界同棲 アマゾネス編

決定稿

2020.04.23

トラック1 .. 日常パート

おかえり。今日は早かつたな。

ふ…私と会いたくあまり…仕事を急いで終えてきたなど…可愛い奴よ。

SE:服が擦れる音

(嬉しさ反面戸惑い有) ん？ どうした？ 帰つて来て早々…私を抱き締めるだなんて…。
くく…よつぱん疲れておるようだ。食事ではなく、私の身で英気を養おうとするとはな。
全く…お前はふとした瞬間に甘えてくるのか。

だが…やはりお前には、そんな疲れ切った表情は似合わないよ。
夕飯はできている。早速食べ…精力をつけて…力いっぱい笑うとよい。
ほれ、こっちは座つて…食べようぞ。

(咀嚼音) あーむつ…んつ…ん、んつ…ん…。

肉はやつぱり上手いな。…私の血肉へと変化するのがよくわかる。
元の世界で食べる肉よりも、野性味はないが…これもまた美味だ。
ふ…私の屈強な肉体の源は…元の世界で食べ続けてきた獣共の肉だ。

お前は…普段あまり肉を食べぬのか？

服を着用しているとはいひよろひよろではないか。そんなでは…力で私に負けてしまう
かもしれないぞ？ 今日は多めに調達してきたからな、お前も沢山食べろよ。

(咀嚼音) ん…ふう…んつ、んん…。

先ほどから食が進まないようだな…。お前は食わないのか？

肉だけはどうかと思つてな、キャベツもあるのだ。しかと ^{しゃく}食すとよい。

(咀嚼音) んつ…ん、んうつ…んつ、あむつ…ん…ごくんつ。

? いちいち切らずとも、このまま、がりがりと貪るのが旨いのよ。

…お前は丁寧に切つてあつた方が食いやすいのか？

(申し訳なさそうに) …すまんな…元の世界の癖が未だに抜けないのだ。
食いやすい大きさに切つてきてやるから、少し待つておれ。

SE:皿を持ち上げる音

SE:席を立ち、歩いていく音

SE:料理道具を取り出す（遠くで）

SE:キャベツを切る音（遠くで）..途中で止まり

(指を切つてしまつたりゼ)
いつ……!

SE: キャベツを切る音 再開 (遠くで)
SE:包丁を置く (遠くで)

SE:歩いてくる音
SE:椅子に座る音
SE:皿を置く音

ほれ、これならどうだ? 食いやすいのではないか?
ふふ…それならよい。では食事を再開するとしよう…。

…おい…私の指先ばかりを見つめてどうした?
切り傷? …ああ、これはな…。

お前は普段料理をしていないようだが…あの包丁、案外よく切れるようだ…。
キャベツを切る途中で、指先を少しきつてしまつただけのことよ…。
安心してくれ。食材に血は付いていない。

(照れたように) お前は…心配性だな。

少し切つただけだ。この程度…元いた世界では日常茶飯事よ。
(呟くように) だが…お前に心配されるのも…悪くはないな。

SE:食事の音

(溜息) ふう…手が止まっているぞ。

肉が硬くなつてしまふであろう? さつさと食べてしまえ。

SE:食べ進める音

…ふう…じちそつさまでした、と。

SE:食器を片付ける音

今のお前、すじくよい表情をしているぞ。満足できたようだな。
しかし…まだ指先を心配しているのか?

何度も言つたろう？

指先を切る程度、よくあることだつたのだ。

お前は想像し難いかもしけぬが：お前と出会う前、元の世界にいた私はな…森林の中に集落を作り、数多の人と共存し、狩猟生活を送つていたのだ。

ここだと、食べやすく加工された食材が並び、それらを調理するのみ。

（少し寂しそうに）何て容易い生活だらうか…。

ふつ…狩は男がするもの…それはお前の想像よ。

私たちの部族ではな、どうしてか：男が滅多に産まれないのだ。

だが、自分たちの子孫を残すには男がいないとどうにもならないだらう？

女だけでは、子どもを産めぬからな…。狩猟中に男を失うわけにはいかなかつた。

そこで…先祖たちは、女が狩猟に行くように捷を定めたのだ。

なーに…この程度、草で切れたのと同じ。もしくはそれ以下の痛みよ…。

何より…常に死と隣り合わせだからな。どんな状況下でも、仲間を想う気持ちは強い。

同じ村に産まれ、育ち、戦い、生きておるのだからな。

（照れたように）ふつ…しかしお前に、心配してもらえたのは：正直嬉しかつたぞ。

（思い出したように）あつ…それともう一つ、この世界と、私が住んでいた世界とでは違うことがある。

ここで…成人の儀…というのは、何やら大それた式に出るのが習わしなのだらう？

私がいた世界での成人の儀はそういうたぐい類ではないのだ。

あちらではな…成人の儀として、女は、その身に子どもを宿す必要があるのよ。

ふつ…私は…その儀を執り行う前に、この世界へと飛ばされたがな…。

（悲しそうに）お前に、想像ができるか？

成人の儀だからと、自分よりも一回りも二回りも年を重ねた男と…行為をしなくてはならない、女の気持ちが。

男と愛情を育み、生涯を誓つて子を作るのではない。

女として成熟し、男を魅了できるだけの年齢になつた、という理由で…好意もない男と体を繋げねばならぬのだ。

ふ…こればかりは仲間意識が強い、という気持ちだけでは…どうにもならぬのよ。

だからな、

SE:立ち上がる音

私は…嬉しいのだ。

よく知らぬ世界に飛ばされたとしても、お前のような…心を揺れ動かされる者と出会えた
ことが。

（深呼吸）（覚悟を決めたように） お前なら…。お前とならい。
私と……契りを結んでくれ。

FO

トラック2・キスからの愛撫

(トラック2での恥じらいは強がり混じり)

SE:服が擦れる音

(舐めるシーンまではキス)

(吐息多め) 成人の儀を済ましてはおらぬが…把握はしているぞ。契りを結ぶ前に、まずは…口付けを交わすのであるう?

(丁寧に) はあ…んつ…ふうつ、んつ…。

(恥ずかしくも積極的な雰囲気で) ふふ、お前も口付けが初めてなのか? そうか…ならば、初めて同士…ぎこちないながらも、最後までするとしよう。そんなにきつく目を閉ざして…安心しろ、唇を噛みはしない。

ただ…小鳥が啄むように、唇同士をはもう。

ふうつ…ん…むうつ、ン、はあ…んつ…ん、ん…。

(若干恥じらいながら) 何やら…胸の辺りがどくどくと強く脈打っている。口付けをすると…こんなにも気分が高揚とするのだな。

だが…知つておるか? 舌同士を絡ませ合うのも…よいらしいぞ。

(激しく) んう…ちゅう、ん、はあつ、ちゅつちゅ…むうつ、んつ…ああつ、はあ、ンツ…。うえろつ…んつ…れろつ、んうつ…はあつ、んつ、にゅつう、ん…。んつ…ふふ…体も熱くなってきたようだ…。実に興奮して…お前に触れたくて堪らん。はあつ…ん、ちゅつ、んうつ…ん、つ…ちゅつ、ん…あつ、はあつ、ン…ふうつ、んつ…ん…うつん…ちゅるつ…ちゅるちゅる…んうつ、ンツ…んん…。

(恥じらいつつ囁く) なあ、直接…触れてもよいか? お前に触りたくて堪らないのだ。はあつ、ちゅつ…ちゅーつ…んつ、ん、んう…。

私が服を脱がしてやる…だから、お前は…ただ私に触れられていてくれ。

SE:服を脱ぐ音

ぎこちなく胸を舐め始める

(吐息) んつ…つ…ふふ…ん…。案外、悪くない体をしているな。

べろ…べろ…べろ…んつ、ふふ…しかし、（以下、誇らしげに）私には敵わぬな…。

見てみよ…この鍛え抜いた我が筋肉を。

産まれた時より…常に獣共が住む野生を生き抜いてきたのだ。お前が筋肉量で敵わぬのは仕方がないさ。

ん…べろべろ、へ、んう…べろつ…べーろつべろ…べろべろ…んうつ、はあつ…べろ…べろ…べろ…べろ…。

だが私と共に元の世界に戻れば…、お前も直ぐに隆々とした筋肉を得ることが出来るはずだ。いや、やはり今のは無しだな。私以外の女に…お前を触らせたくない。お前には…私がのものでいて欲しいのだ…。

べーろつ…べろべろ…べろーつ、んうつ、ン…はあつ、ん…べろべろ。べろべろ…んうつ、はあつ、んう…ん、べーろつ…

しかし…このふにふにとした腹回り…意外と心地がよいぞ。

そうだな、お前はこのぐらいの綿まりが丁度よい。

べろべろ…んうつ…べーろつ…べーろつ…べろべろ、べろべろ…。

ふふ…既に興奮してきおつたのか？ いやらしく乳首が勃起しかけておるぞ。激しく舐めたら…もつと硬くなるのだろうな。

（丁寧に）んつ…んつ…んん…べろ、べろ…べろ…。んう…ん、べーろつ…おべろべろ…んつ、んうん…べろべろ、べろーつ…。

身を捩らせて…くすぐつたいのか？

それとも初めて胸の飾りを舐められて…心臓が騒がしいか…？

ん…んんつ…べろつ…べろべろ…べろべろ…んうつ…（息を吐く）はあーあ…んつ…べろべろ、べろつ…んうつ、ふうつ…ん…べろべろ…べろ…。

ふふ…鼻から吐息を漏らして…少しづつ感覚が変わってきてるのであろう？

飾りを舐められて…気持ち良くなっているはずだ。

べろべろ…んつ、ふうつ、ん…べーろつ…べろ…べろ…。

しかし…舐められるだけでは物足りないか？

では…私の唾液で濡れた先端を…悪戯に…指でこりこりこねてみようか…。

SE:乳首を擦る音（こりこりの台詞と同時再生）
こりこり…こりこりこり…。

（吐息）んう…はあつ…ん…なかなかよい光景だな、こうして私の愛撫で感じ…声をあげてくれるお前の姿は…。はあ…んつ…ふう、ん…余程胸の飾りを責められるのが好き

になってきたようだ。私も…こりこりのし甲斐があるというものよ。

SE:乳首を擦る音（こりこりの台詞と同時再生）

こりこりこり…こりこりこり…。

どうした？ 急に唇を強く噛み締めて…。

胸の飾りで感じているのが恥ずかしくなってきたのか？

ふふ…何を今更、よいじやないか。私だつて…きっと感じてしまうぞ？

私が如何に男を凌ぐような強靭な体を持つていても…この身は女なのだ。お前よりも…多少は胸でも感じるだろう。

何より…激しく心を揺さぶられている…いや、これではわかりづらいか…。

好きな者に触れられるのだ、感じてしまうのは当たり前だろう？

何も恥ずかしがる必要はない。ただ…互いに愛撫をしあえればいいのよ。

（キス音）ちゅーっ…んっ、ん…はあっ、ちゅっ、んうっ…んん…。

なあ…（恥じらいつつ）そろそろ私のこともよくはしてくれぬか？ 互いに、脇を舐め合いたいのだ。

…ああ、契りの通過儀礼として、お互いの恥部を舐めあうのだ。お互いの体液を体に取り込むことで、我々は一つになる。

ん？ 私とて、他の男の脇を舐めた経験などないぞ。

お前だからこそ…こういったこともしたいと思えるのだ。

（興奮したような僅かな鼻息）ふー…ふー…ふふ…他人の脇をここまで直視した経験はないが、より一層興奮してきたぞ。

れーろつ…れーろつ…んっ、ん…んん…。

少し酸っぱい味がするな…慣れないことの連続で、無意識的に汗ばんでいたようだ。

（匂いを嗅ぐ）くんくん…くんくん…匂いは大して気にならん。このまま舐め続けていくぞ。れろーつ…れろーつ…れろれろ、れろれろ…れろーつ…れろーつ…。

どうした、お前も…舐めてはくれないのか？ 私の…脇を。

（押し付けるようにしつつ恥じらう）…ほれ、頬むぞ…。

れろれろ…れろーつ、んうつ、ん…ふーふー…れろつ、れろれろ…れろーつれろーつ。んん…悪くない味だ…お前も、遠慮せずに存分に舐めるがいい。

（舐められて少し身もだえしながら、舐め返す）んつ…んん…ペろ、ペろペろれろれろ…

？ しかめっ面で、どうした？

もしや…（恥じらいつつ匂いを嗅ぐ）くんくん…くんくん…あつ、（申し訳なきそう/恥ず

かしそうに)す、すまぬ…。

興奮のあまり…失念しておつた…。

(肩を落としたように)私は、その…この世界に住む他の女と違い…少し体臭が強い…のであろう?

(落ち込み気味に)そういう体質なのだろうが…その、やはり匂うか…。

そこまで匂いが気になるのであれば…舐め合うのは止めておくか?

わ、私は平気だぞ? (照れ気味に)お前の匂いも含めて…好きなのだからな。

SE:肌が擦れる音

ええつ…(恥ずかしがりつつ吐息)んつ…はあつ、ん…ン…ふうつ、ん…に、匂いが…気にならないのか?

ううつ…ん…はあつ、ふう、ん…つああつ…はあ…わかつた、匂いが気にならないのはわかつたから…そんなに、しつこく…嗅がんでくれえ…。ただお互いに舐めて、愛撫し合えれば…それで嬉しいのだからな。

んつ…ん、んつ…ペろペろ、ペろペろペろ…ん、んう…んん、案外、舐めるのが上手いな。くつ…ん、んうつ…んん、はあつ…んうつ、ふう…ペろつ…ペろペろペろ…ん、むうつ、んつ、はあつ…ん…。く、クセになりそうだ…。

心を許した者に舐められるのは…堪らん。長い時間舐め合いたいほどだ。

つ…ん、ふうつ、ん…ペろペろ…れろれろつ、んうつ、んん…はあ、んつ、ふつ、ン…ん…れろれろれろつ…れろれろ…んつ、はあ、んつ…ん、んうつ…。

私の唾液で…脇がぬるぬるになつてきておるな。

脇の毛がちくちく唇に触れるのさそ…心地よく感じるほどに、盛り上がつてきたぞ。

(ゆつくり)あーんつ…んう…んつ…ん…ペろペろ…ペろペろ、ペろ…。んうつ、ふうつ、ん、んつ…ペろ…ペろペろ、れろつ…ううつ、んう、ふうつ…はあ、んつ、んん…。

ああ、お前の汗をちゅるちゅる吸うのも…よいなあ。

んうつ…はあつ、ううつ…けれど…自分の汗を吸われるのは…やはり恥ずかしいぞ…。

んつ…ああつ、はあん…お前の汗は…酸っぱいにもかかわらず…美味しいとさえ感じるようになつてきたがな。お前が感じてくれているお陰だ。

あーん…んうつ、ん、ん…れろれろ…れろれろれろ…んうつ、ふうつ、ん、んつ…ペろつ…ペろペろ、ペろ…んつ、はあ、んつう、ふうつ、ン…んん…。

なあ、そろそろ…次へ行かないか?

…大事なところも…よくしていこうではないか…。

FO

トラック3 :: フエラ

(全体的に、慣れないながらも必死に愛撫をしている)

(フェラ開始までの喘ぎはキス)

竿がしつかりと勃起し始めているな。

ちゅっ…んうつ、んつ、はあつ、ちゅつ、ちゅーう。

これまでの行為が余程気持ち良かったか?

ただ直接ココを触れられないと、どこか物足りぬことだらう?

ちゅーつ…んうつ、ん…。

ふふ…口付けをしながら服を脱がしていこう。…私の前に、性器を晒してみせてくれ。

SE:服を脱がせる音（脱がせながらのキスイメージ）

んーちゅっ、ちゅっ…んうつ、はあつ…ん、ちゅつ、ちゅつ…ちゅちゅつ…じゅるつ…んうつ、はあつ、ふう、ちゅう…じゅるつじゅるつ…じゅるじゅるじゅるじゅるるうつ…。

(吐息) っ…ん…ふふ… (興奮しつつも恥じらい気味に) …顔には似合わず、想像していだよりも大きな性器が…硬く張り詰めた状態で…姿を現しあつたぞ…。

(恥じらいつつ息を呑むように) なにより男の性器は初めて見たが…こんなにも狂暴的な見た目をしているのだな。

まだ完全には勃起しきってはいないようだが…それでも、力強く…太く、長いな…。

一見すると細身で…腹周りには多少肉付いているようなお前でも…ここは一人前のようだ。ん…はあつ、ちゅう、ちゅ…んうつ、ンツンン…。

早く…私の中にこれを入れてくれ。お前と…契りを結びたいのだ。その気持ちに偽りはない。

何度も言つておろう? 私は…お前とだからこそ、愛し合いたいと…。

ちゅっ…んつ、ンンツ…はあ、ちゅつ、ちゅーつ…ん、ふう…。

ふふ…それじやあ、そろそろこちらも触れていこうかの…。

(恥じらいながらの吐息) ふー…ふー…ふふ…竿が外気に触れ、ふるふると震えているのが…大きさと相反してまた可愛いな。

(好奇心旺盛に) クンクン…クンクン…むわあつとお前の匂いも漏れ出して…気持ちが高ぶつているよ。

ん? 臭いわけではないぞ? お前の性器が放つ匂いが…私の欲望をますます強めるのだ。

お前のこれを早くこの身で感じたいと…心の底からな。

くんくん…くんくん…ふふ、それにしても実によい香りだ。匂いを嗅いでいるだけで…秘部が濡れてしまいそうなほどよ。

すまんな、私ばかりが香りに溺れて。

お前の性器を直接愛撫するぞ…。私の秘部に入る前に、しっかりと硬くしてくれ。

(性器を舐め始める)

(息を吹きかける) ふー…………ふー…………ふふ、いきなり口に含むと思ったか?

徐々に、徐々に…お前を気持ち良くなしていくさ。

(性器にキス) んーちゅつ…ちゅ…。

亀頭への口付けはどうだろう。唇同士でする口付けとはまた違つて、高揚しそうか?

(キス) ちゅつ…ちゅちゅ…ちゅるるる…ちゅるつ。

ふふ…待ち遠しそうな表情をしているな。わかつておる、いち早く…こうされるのを求めているのだろう。

(じっくりと竿を舐める) れーろ…れーろ…竿全体を嬲るように舌で舐められるのをな。れーろ…れーろ…れろれろ…れろれろ…欲を言えば裏筋を舐められたくて堪らなかつたのだろう?

れーろつ…れーろつ…れろれろ…れろれろれろ…れーろつ…れーろつ…ふふ…そんなに身をよじるでない。快樂を得ているのはわかるが…そんなによじられてしまつたら…袋の方をにぎにぎと握り込んでしまうぞ?

少しづつ快感を体に刻み込んでいくのだ。あまり焦るでない。

まずは竿をしっかりと唾液でぬるぬるにしていくぞ。

(舐める) れーろ…れーろつ…れーろ…れろれろ…唾液が付着した竿がぬらついているな。気持ち良さそうに吐息も漏らして…やはり男というものは、性器を刺激されるのが一番好きなようだ。

れろれろ…れーろつ…れーろつ…れろれろれろ…まだまだねつとりと嬲つてやるぞ。れろれろれろ…れーろつ…れーろつ…れーろつ…れろれろ、れろれろ…ちゅーつ、ちゅつちゅつ…。

さらに力チコチに硬くなってきたな。しゃぶられるよりも、舐められる方が好きなのか?お前は。

ふあーあ…れーろ…れーろ…れろれろ…れろれろ…ああ、すごいぞ…匂いが強まってきているな…れーろ…れーろ…れろれろ…れろれろ…れろ…舐める度に香りが鼻に入つてくるわ…お前の、濃い体臭がな。

れーろ…れーろ…れろれろ…竿の根元の方もしっかりと舐めてあげないと、拗ねてしまい

そうだな。

んつ…んう…んん…ほれ、そそり立ち始めた竿の根元を集中的に舐めてあげるから、きちゃん
と感じてくれ。

れろー…れろー…れろー…ちゅつ…ちゅ…じゅるじゅる…ちゅぱちゅぱ…んつ…ふうつ、
れろー…れろつ…ふふ…気持ちよさそうだな。いいぞ、もつと喘いでくれ。…お前の嬌声に
心を躍らせているのだからな。

れろー…れろー…れろれろ…れろれろれろ…だーかーらー、我慢はするなでない。聞か
せてくれ…お前の甘い声を。私の耳に、しっかりと残るよう…。

れろれろ…れろれろ…れろー…れろれろー…れろれろ、れろれろ…んつ、ちゅつ…ふうつ、んつ、
ンン…れろー…れろー…れろれろ…れろー…れろー…ちゅぱあつ、ちゅぱあつ…れろれろ…。
もうそろそろ…丁寧に先端を舐めてもらいたいのだろう？

れろれろれろ…れろつ…んうつ、はあ…ふう…れろれろ…れろれろ…。

ふふ…こくこく頷いて、可愛いな。そんなにも亀頭を弄つて欲しかったか。

(吐息) はあ…ふふ…お前の望み通り、先端部分を舐めていこう。

ただまだ…射精して欲しくはないからな、根元を両手で握りながら…先端を舐めていくぞ。
ほれ、待ちに待つた先端への刺激だぞ。ちゃんと感じてくれよ。

れろれろ…れろれろれろ…んうつ…んん…れろれろ…れろれろ…んうつ、ふうつ、んん
つ…れろれろ…。

可愛い声が止まらないようだな。ふふ、もつと聞かせてくれ。

つ…れろれろ…れろれろ…れろれろ…竿が熱くなつてきたぞ？ もしや…も
う射精したくて堪らないというのか？

いけないなあ、お前の出す精子は全て私が頂く。まだ我慢し…後に私の中に出してくれ。
ほれ、我慢だ…堪えてみせよ。

れろれろ…れろれろ…れーろつ…れーろつ…れろれろれろ…れろれろれろ…れ
ーつ…れろー…んーちゅつ、ちゅ…ちゅつ、ちゅ…。

私は…お前のどんな姿でも見たいが、特に…感じている姿を…目に焼き付けたいのだ。
もし突然元の世界に戻されてしまったとしても、お前を忘れてしまわないようにな。

ちろちろ…ちろちろちろ…ふふ…血管が浮き出るようになつたな。

先端から…苦みのある液体も出でているようだ。

ちろちろちろちろ…ちろちろちろちろ…ほれ、ますます溢れで…んつ…ちゅるつ、じゅる
つ…じゅるじゅるじゅるじゅる…吸え…吸うほど、口の中がいっぱいになるな。

もつと私に味あわせてくれ…お前の味を…。しっかりと口で咥え込んでやるから…。

性器を咥えだす

あーむつ…んつ、んうつ、んん…んんつ…んうつ…んんつ！ んん！

全く…呑えた途端、より大きくさせるでない。い、息苦しくて堪らんかったではないか。

私の口に入りきるか、そもそも疑問ではあったが…これ以上大きくされてしまうと、収まりそうにはない…が、ふふ…そんなに残念そうな顔をする。きちんと私の口で喜ばせてやる。

あーむつ…んうつ、ん、んつ…んつ、ああつ、んつ…じゅぷつ…じゅぷつ…じゅぷじゅぷつ…ううつ…呼吸の仕方を忘れてしまいそうになるくらい、太くて堪らんな…お前の性器は…んつちゅつぶつ…ちゅぶちゅぶ…ん、はあつ、んう…ん…。

…なあ、知つておるのだぞ？

お前、私がここに来てから…一度も自分でしてはおらぬな？

私に気を遣つてくれていたのかはわからぬが…相当性欲を我慢していたのだろう？
決して私に手を出さず…日々を過ごし、ただただ…言葉や態度だけで愛を育んでくれた。
ん…つ、ん、ちゅうつ…はあつ、ン…んうつ、ん…ちゅぶ、ちゅぶ…ちゅぶちゅぶつ…
んつ…ン、はあつ…じゅるつ…じゅるじゅる…んう…ふうつ、んうつ、ン…はあ、ンツ…。
その恩を返す、というわけではないが…自分の気持ちに素直になつて、お前とともにいたい
と…お前と契りを結びたいと思つたのだ。

ふふ…ここまできたら、後戻りはできぬぞ？

(囁く) 何度でも言わせてもらおう。私は…お前と…契りを結びたいのだ…。

(嬉しそうに) ふ…竿がぴくんと震えたな。

お前も…私と同じ気持ちでいると、そう思つてもよいのか？

(性器にキス) ちゅちゅつ…。ありがとう。

んう…ふうつ、ん…ちゅつ…んつ、じゅるつ…じゅるじゅる…ちゅぶちゅぶつ…んつ、んう
つ、はあつ…ん、んうつ、ん…ちゅぶちゅばあつ…ちゅばちゅば…ん、ふうつ、んつ…はあ
んつ、ンツ…ふ、うつ、ン…。

ここまで頑張つて愛撫を施してきたのだがな…私とて、こういつた経験が豊富なわけでは
ないのだぞ。

男と契りを結ぶまでは…誰ともそういつた関係性になつてはならぬと、部族の掟で決まつ
ておるのだ。

(恥じらいつつ) だから、私も…初めてでな…必死に、お前をよくしようと必死なのだ。
ど、どうだつただろうか？ 私の愛撫は…よいか？

(微笑み) ふふ…ちゅぱうつ、んつ…はあつ、ちゅつ、ちゅ…んうん、ちゅぱちやぱつ…じ
ゆるじゅるつ…じゅるじゅるじゅるじゅるじゅるるうつ！

その反応…安心したぞ。今すぐにでも射精したそうな顔をしている。
いいぞ…そろそろ…私の中に出すとよい。

(恥じらいながら) ほれ、私の秘部はここだ…。

SE:くちゅ、と性器を広げる音

今こそ、契りを結ぼうぞ。

FO

トラック4 .. 正常位

(強がりではなく、恥じらいが大きくなり出す)

私が…仰向けになればよいのだな…。

ふ…自分よりも脆弱そうな体に組み敷かれようなど、想像をしたこともなかつたぞ。だが…気付いたのだ。

肉体的には私の方が上手うわてでも、人は中身なのだ、とな。

もちろん、自分自身の屈強な筋肉には一点の陰りもないが…自分よりも猛々しい私を女扱いしてくれるお前には…感謝しかないと。

(キス) …んう…ちゅつ、ちゅ…。

さあ、契りを結ぼう…。

SE:シーツが擦れる音

(吐息) ん…ふう…んつ、ん…。

(若干恥じらう) このくらい、脚を広げれば入れやすいか?

お前も初めてなのだろう? わ、私が…これまで通り主導権を握つてやるから、ほれ…その猛った性器を入れてみてくれ。

ただ…す、すまぬが…は、初めてだから…優しくしてはくれないか。ゆつくり、頼むぞ…。

SE:挿入する音

ううつ…ああ、そうだ…秘部に性器を宛がい、少しづつ丁寧に…入れて欲しいのだ。

(痛みを堪えつつ恥じらい喘ぐ) んつ…はあ、ん…ふう…そのまま、頼む…くう…ふ、んつ…ああはあ…は、入つてるのが…わか、る…ぞ…。んつう…ああつ、はあつ、ひいつ、あ…やあつ、ううつ…うつ! ん…ああ…ひいつ、うう…。はあ…ううつ、んう…ああつ、あーあ…ふうつ、ン…。

SE:性器を抜く

(息を切らして) …お、おいつ…!? お前…どうして…抜いてしまったのだ…?

早く私の中に出したいのだろう? さつきまで必死に堪えていたのは、この時の為なのに、なんで…。

(軽く驚きつつ強がる) そ、そうか…お、お前には見抜かれていたのか。

だが、大丈夫だ、安心しろ！

わ、私は…お前が思っているほどやわではない。

このくらいの痛みは…平気だ、だからほれ…再開をしよう。

今度はしっかりと挿入するのだぞ？

お前だって、いつまでも我慢している方が辛いだろう？ 私のことはよい…契りを結ぼうぞ…。

SE:足を広げる、くちゅっとした音（台詞言いながら）

脚を広げていてやるから…そのまま覆い被さつて…秘部に入れるのだ。

SE:挿入する音

（呼吸を整えて）はー…ふー…（吐息混じりに）ん、んうつ！ あつあ…今度こそ、お前の性器を…中に収めて…やる、からなあ…！ ふうつ、ん…はあ、あ…いいつ、ああつ…はあ、ん…ううつ…！ そ、そこお…そこが…痛くてえ…かなわん、の、だああ…いいつ、ひいつつ、あつ、んうつ！ んつう！ ん！ んうつ、ああ…あつ、ひいつ、い…。

いつ…ひいつ…い…ああ…た、のむう…また、ぬ、いて…くれえつ…！

SE:性器を抜く音（あつ…と言いながら）

あつ…うう、ん…

…すまぬ、な、どうしても…痛みが、あるのだ…。

私に…時間をくれ。

お前が…精を吐き出したい気持ちを…必死に我慢してくれているのはわかっているのだ。だが…お願いだ…。深呼吸をさせて欲しい。

（深呼吸） はー…ふー…はー…ふー…。

よし。つ、次こそは…堪えてみせる、からな…。

（恥じらう） へえつ…!? ああつ…んう…ふうつ、ん…突然、どうしたのだ。

私の体を嗅ぐなど…そんなにくんくんされたら…くすぐつたいではないかあ…。

（強がる） んつ…はあ、ふうつ、う…ふふ…お前なりに、私の身を案じてくれているのだな…。

ありがとう…だが…もう大丈夫だ。挿入してくれ…。

SE:挿入する音

(僅かに痛みを覚えている雰囲気の吐息) つ…ん、ふうつ、ン…ああつ、ああ…ひいつ…。

今度、こそお…んつ、ああつ…はあ、ううつ…お前の性器が…中、にいつ…。

ああ、んうつ、ふ、うつ…あ、はあ…もう、そろそろ…全て入りきりそう、かあ…？
ん、ああつ、はあ…ううつ、ん、ひいつ…いいつ、あ…？ な、なにい？ まだ、半分も

入っていないというのか？

ううつ…す、すまんが…待て…待て…まつ、てくれ…。

中が…どうしても痛むのだ…まだ、動かずう…そのまで…いてえ…欲しいのだあ…。

(痛みを堪える吐息) う…ふうー…う…いいつ…あ…ふう…んつ…。

わかっている…わかっているのだが、どうしても体に力が入ってしまう…。

不慣れながらも、必死にお前の体を気持ち良くしてやろうとしてきたのだ。

しかし…ふふ…自分の体の中に異物を入れられると思うと…やはり、な…。怖気づいてしま
う…。

けれど、今度こそ…大丈夫だ。もう少し…深くまで…お前の性器を…私に…入れてくれ。

SE:さらに深く挿入する音

(痛みを堪える吐息) ふう…ん…はあ、う…んつ…ああ…はあ…ううつ！ ううつ…！
ううつ、あああつ…ああ…！

(痛みを堪えて強がる) ああ…はあ、うつ…やあつ、と…お前の性器を…全て、飲み込めた、
かあ…？

(自信気に) それは…よかつ、たあ…ふふ…私はタフであろう？ しょ、処女膜が破れる程
度の痛みは…どうってこと、ない、のだ…ううつ…。

(ごくり) だが…その…動く、時には…激しくするのだけは…止めてくれ。

SE:ゆっくり動き始める

んつ…んうつ！ ん…ああつ…ひいつ、いつ…そ、そ…うだ、少しずつ動いて、くれえつ…い
つ、ふうつ、ん…ああ…ふ、う…。

(痛みは残りつつも感じているため、恥じらいながらの喘ぎ) あつ…、んうふうつ…ふ、ん
…ああ、んう…う、んつ…はあつ、ん…んう…。
な、なあ…動きながら、口付けを…してはくれぬかあ？
んつ…ああつ、はあ…お前の熱を…秘部以外でも、感じたいのだ。

(感じながらのキス音) んう…う、ふう、んつ…ああつ、ン…ひ、いつ…んつ…んん…ふう、ン…んう…はあ、つ…ん、ちゅつ…ちゅ…ちゅちゅつ…んう、はあ、んつ…ふう、んつ…いつ、はあ、ンつ…。

あ、ありがとう…。口付けのお陰で…いい具合にいつ…落ち着いてきた…。

SE:舐める音

(恥じらい) ひいつ…!? お、お前…いきなり首回りを舐めるな…!

SE:舐め続ける（台詞の間）

んつ…はあつ、ひいつ…ううつ…やあんつ…どうしたのだ、そんな…んうつ…はあつ、ふうつ…。

(照れる) な、なにいつ？ 私の匂いが癖になつたというか…?! 私の…この体臭が…。はあつ…ふうつ、んう…そ、それは嬉しいが、その…ん、やあつ、んつ、はあつ…ううつ…。そんなに必死に舐められてしまうと、は、恥ずかしいじやないか…。

あつ…脇まで…んんつ…あつ…入れられながら舐められると…さつきより、感じてしまふではないか…ン…んう…はあ、ああ…はあ…ううつ！ ううつ…ああんつ！あんつ！ なあ…そろそろ少しくらい…激しく動いてくれても構わないぞ。

今まで…お前には散々我慢させてしまつたからな…。

ほれ…（キス音）ちゅつ…ちゅ、ちゅつ…んうつン…動くといい。

SE:動き始める

(まだ痛みはある喘ぎ/恥じらう) ああつ、はあ…んうつ、んつ…はあ…ああ…ひいつ、ううつ…。

うつ…ますます、中で性器を硬くさせ、おつて…。そんなにい…私の秘部が心地よいというのかあ？ ああつ、いつ、ふうつ、んつ…ああつ、はあ…ふう、んつ…う…。んうつ、ああ…はあつ、いつ、ひいつ…ふつ、ふふ…お前が気持ち良さそうにしてくれるのが心より嬉しいぞ。先程までのお前は…今すぐにでも…精子を吐き出したそうにいつ…ふうつ、ン…ああつ、はあ…して…いた、からな…んつ、う…ああ…ああ…あ…。

ううつ…中で、中でえつ…性器がびくびくして…す、すごく…変な感覚、だぞおおつ…こ、腰を…打ち付けられるた、びにいつ…うつ、ふつ、ン…ああつ、はあ…言いようのない、苦しさに…襲われる、というのにいつ…ああつ、はあ…んうつ、ふうつ…足先があ…震えて止まらない、のだ…こ、これが…気持ちがいい、ということ、なのかあ…？

ああん首回りを舐められるのも…堪らあん！　お前から施される愛撫全てが…私を心からよくしてくれておるうつ！

ああつ、うつ…んつ…ああつ、はあ…ほ、本当は…まだ、中があ、ヒリヒリ痛んでえ…堪らないんだあ…。最奥を突かれる、度にい…ぐつぐつ…いた、くてえ…うつ、ふうつ、ン…ああつ、ひいつ、いつう…もつと…口付けをしてえ…欲しいぐらいなのにいつ…！

(喘ぎ混じりのキス音) んんうつ?! …ああ…んうつ、ふう…ん…ん…ちゅつ…ちゅう…んつ、はあ…うつ、ん…ん…ふう、ああ…んつ…ひいつ、ちゅう…ん…。

ふふ…あり、がとう…。お前と…契りを結べて…喜ばしいぞ…。

だが…まだ…足りない…。私の中に…お前の精子を…注いでくれ。そこまでして…契りを結び終えたことに、なる、のがあつ…ああつ、ふうつ、ン…。

私は…もう、平気だからな。めいっぱい、動いて…よいぞ。

SE:激しく動く

(まだ痛みが残りつつの喘ぎ) んう…はあつ、いつ…い…ふう…うつ…ん、ああつ、はあ…ふ、う…んつ、ふふ…んう…はあ、ああつ…んつ、ン…い、いい、ぞお…もう、射精したいのであろう？

中に…出してくれ…。私の中を…お前の精子で、満たして…くれええつ！

SE:さらに激しく動く

ああんつ、ふうつ…ううつ、ン…はあ、ひいつ、いつ…ふ、うつ…んつ、ン…ひいひい…うつ、ン…ああつ、は、激しいいつ…！　んつ、ああつ、はあ、うつ、でも…やつと…快感、をお…得られているうつ…！　お前の、お陰…だなあ…。

お前があ…私の言葉を受けてえ…無理やりにではなく…ちゃんつと、待つてくれていたから、だああ…！

んつ、はあ…ううつ、ふつ、ン…ああ、ああ…ああつ、んつ、ふうつ…ん、ん…あはつ、いいつ、うつ…んつ、ンンつん…な、中でええつ…性器が…また、ビクビクとしておるうつ…！

私の中にいつ…出したいかあ？　出したいのであろうう？

もう…我慢をする必要はないぞおつ…！　んつ、はあつ、あ…うつ、ふうつ、ン…はあ、ひいつ、うつ…ンツ、ン…ンンツん…中にいつ…めいいっぱい、注いで…くれええつ！　ああつ、はあ…そのまま、そのままだあ…激しく腰を打ち付けえ…出せええつ！

(未だに痛みを感じつつの喘ぎ) ひいつ…ううつ、んつ、はあつ…あつ、ふうつ、ンツ…ンツンツン…はあ、うつ、ふうつ、ン…ああつ、あああつ…今、出すか？　出すのかあ？

ああんっ、うつ…ふうつ、出せえ…！ 出せえ、出せええっ…！
んっ、んうつ…ンツンンン…あああつ、はあ、（軽くイつている） ああああつ…！

SE:射精音

（吐息） ううつ…ふう…ん…ああ…ん…あつ…ははあ…ドバードバつと…私の中に…大量の精子が…注がれたぞ…。 （恥じらう） んつ…ふうつ…う…私も…軽く果ててしまつたよ…。 あ、脚の震えが止まらん…ちょっと動かれるだけで…大いに感じてしまい、 そudad…。

（恥じらう） それに…お前は…本当に私の匂いが好きになつたのだな。
体が熱く汗を流して…より強く匂うだろうに…そんなに熱心に匂いを嗅がれてしまつたら…何も言えなくなつてしまつては…ないか。

あつ…はあ、ふう…ん…ン…それどころか…頭がくらくらしている…何やら夢の中のような…どこか…不思議な感覚だ…。

ふふ…（キス音） んーちゅつ…ちゅつ…ちゅちゅつ…ん、はあ、む、んつ…。
でも…決して夢ではないのだよな。

本当に…お前と契りを結ぶことが出来た。 それが…とても嬉しいのだ。
元いた世界で、 成人の儀を迎える前に…こちらに来られてよかつた。 でないと…お前とは、 こういう関係になることができなかつたであろうからな。

なあ、もう一度口付けをしてもよいか？

（強がり恥じらう） んう…はあつ…んつ、ふうつ、ん…。

まつたく…私は口付けを望んだのだぞ？匂いを嗅いで欲しいとは一言も言つておらぬよ。
ほれ、私の唇はこつちじや…。

ちゅ…ん、んうつ…ふう、ン…はあ、ちゅつ、ちゅ…ん、ン…ふうつ、ン…じゅるつ…じゅるじゅるつ…ん、はあつ、ちゅつ…ちゅう…ん…ンうンツ…。

どうした、口付けをしただけで…お前のあそこがまた…元気になつてきているようだな。
構わないと…。もう一度、するか？

最初はただ痛みを感じるだけで…快感を得られるのか不安で仕方がなかつたが…今ならば違う。…痛みがあつても、きちんと…快感を拾い上げることが出来る。

（余裕がなくなりだした恥じらい） ふふ…お前だけがもう一度したいわけではない…。
私も…お前と同じ気持ちだ。もう一度…今度は体勢を変えて…しようではないか。

断られる謂れはないぞ？ お前の性器は…実に素直で、決して嘘をつけないらしいからな。

(キス音) ん…ちゅっ…ちゅ、ちゅーう…ふう、ン…んはあつ、ン…ん…んうつ、んつ…。
ほれ、続かをするとしようか。…チユツ。

FO

トラック5 .. バック

余裕がなくなり恥じらいを表に出すように

(恥じらう) 次は…け、獸のような体勢でしようではないか。
む、昔な…誤つて同じ部族の成人の儀を見たことがあるのだ。
その時…こうして…女が四つん這いになつていてな、男を受け入れていた…。そして実に艶
めかしい声をあげていたのが…今でも鮮明に思い出せる。

だが…その当時は契りを結ぶ際には決して痛みはないだろうと思つていたのだが…ふふ…
よもや想像を超える痛みであつたぞ。お前が丁寧に…優しくしてくれていなければ…涙を
流していたであろうな。

なんて…長話をしていくは勿体ないな。
ほれ…

SE:くちゅっとした音

う、後ろから…挿入してくれ。お前のを…改めて受け止めたいのだ。

SE:挿入音

SE:すこし激しめに動く

(若干痛みを感じている吐息) んう…は、ふう、ひいつ、ン…んつ、ああ…は、激しいなあ

う…ふう、ん…先ほどよりも…ふ、深い場所にまで…お前の性器が入つて…いるようだ。あ
あ…ふう…、ん…痛みには…少しずつ慣れて…いたはず、なのだが…うう…、ふ、ん…はあつ、
ふ、ん…うう…やはり、まだ痛む、なあ…。

(痛みを我慢している) んつ…う…は、ふう、ひいつ、ン…んつ、ああ…は、激しいなあ
あつ…！ 腰を打ち付ける速度が…早くてえつ…あんつ、はあつ、ふう…、ン…ひつ…な、
中でえ…性器が震えて…おるうつ！

こんなにもすぐ射精をしたい…というのかあ…？ あつ、はあ、んつふう…んつ、ああ…はあ、
ひいつふう…私の中で果ててくれる…は…嬉しいの…だあ…！ しかし、やああつ、んつう
う…あまりにも激しいとお…ヒリヒリしてええ…快樂どころではないの…だあ…つ！
あんつはああう…、ふう…ああふう…、ひいつ…わかつたあ…構わぬう…すぐ…にでも射精を
してもよいからああ…もう少しつゅつくりいつ…！

SE:動く音、ややゆっくりになる

(痛みを堪え) んう…はあつ、あ…ふうつ、んつ…ああつ、はあつ…ううつ、そのぐらいの速さで…たのむうつ…んうつ、はあうつ…もう、出ると言うかああ？ わかつた、受け止める、からああつ… (痛みを感じながらも恥じらい喘ぐ) んつ、はあつ、うつ、んつ、ンつんつ、んつ…あんつ、はあつ、んうふうつ…ううつ、んつ、はあ、ああつ…あああつ…！

SE:射精音

(吐息) はあ…あ…ああつ…はあつ…熱い精子があ…私の中にい…ふうつ、ン、はあ…あ…。ああつ…はあ…んうふうつ…うつ、はあ、んつ…わかつておるう…まだ、足りぬのであらうう？ はあつ…ふう、ん…あ…頼む…今度は…もう少し…優しくしてくれえ…。でないと…私の身が、もちそうにないのだ…。

SE:1、2回抜き差し

(痛みを忘れるように) ふうつん…はあ…うふうつ…。

す、すまぬな…。まだ痛みがあつて…お前のように、ただ快感を貪れるほどの…余裕はないんだ。
だから…

SE:ゆっくり動く

あ、そうだ…そのくらい、丁寧に…ゆっくり…腰を動かしてくれ。
ああ…ん、ふう…んつあ…んん…ひいつ…い…ふふ…助かる、ぞ…。

(余裕なく恥じらう)

ん、ふうつ…んつ、んうふ…はあ…んう…う…ふうー…んつ、ん…はあ、んつ、ン…うつふうう…。

はあつ、ああつ…！ んつう…ああんつ…はあつ、ううつ…やはつ、はあ…お前、今…ど…を撫でてえつ！

んつ、ふうつ…あ…ん…背中を…撫でたと、いうのかあ？ んつ、ふうう…はあつ、あ…んつ、とてもいやらしい撫で方をしている、じゃないかあ…。

ただ触れられているのとはわけが、違うう…繋がつて…いるから、なのかな？ 背中まで…立派な性感帯になってしまったかのようにい…感じてしまうう…。

はあつ、んう…ふう、ああつ…ん、背中を撫でられないと…秘部の痛みなど…忘れられそう、だ…あ、んう…はああつ…あ…。

(余裕なく懇願) もつと…背中を撫でてはくれぬか？ そう、そうだ…腰を掴みながらも…片方の手でえ…背中を撫でてえ…ああん、ふうあ…ああつ…ううつ、ん…あ…。

ふう…んつ、んう…はあー…んつ、んうつ、ふう…んつ、ああつ、あ…。

(恥じらいつつも余裕がなくなり) んう…くうつ…ふうつ、んはあつ…ああ、ふ…ううんつ…ああ、はあ…。まさか…背中を撫でられて感じるとは思いもしなかったが…ふふ、あの時に見た同じ部族の者も…こんな気持ちだったのだろうな…。

ふう…んつ、はあ、うつ…お前の顔を見えない…少しだけ、不安になるのだ…。だがそんなささいな不安を全て払拭させてしまう、ほどのお…快感が襲い掛かってくる…うつ！ んつ、ふう…はあ、んつ、くう…うつ、んつ、はあ、んつ…ふうつ、んつ、んつ…はああつ、ああつ…き、気持ちがよい、ぞおつ…！ はあつ、んう、ふうつ…ん、つう…んつ、はああ…あつ…！

SE:少し激しくなる

んうつ、はあ…ううつ、ふう…ああ…ああ…う…う…どくどくと…また性器が脈打つて…おるな…。ふふ…やはりまだ足りなかつたか…よいぞ…もう一度、私の中に出てくれ…。ふう、んつ…んつ、ああつ、はあ…ふつ、ン、いつ、ふ…はあ、ンツ、ン…あつはあ、ンツ、ん…んつんん、はあ…今度こそ…私を…深い快楽へと…導いて欲しいのだ…。んつ…ううつ、ふうつ、ン…ああ、はあ、んつンツンーつ！ ああつ…はあつ、うつ、んつ…んつ…痛みを超えた先にある…悦びへ…。

ん、ふうつ、ンう…はあ、うつ、んいつ、ひいつ…い…ふふ…心配せずとも良い。はあ…んうつ、ふ…んつ、ンツン…んう…大げさだな…お前は…。

んつ、んつ…んん、うつ、はあつ…ひいつ…ふう、んつ…んう…私自身が分泌している愛液と…んつ…んうつ、ン…お前が出した精子で…はあつ、ん…ふうつ、んつ…ああー…はあつ、ん…私の秘部は既に…ぬるぬるになつてているのだ。

ほれ…んつ…はあつ、ふう…ひいつ…ひいーつ…んつ、はあ…耳を澄ましてみよ…。んつ…ああつ、はあ…んつ、ン…くちゅくちゅいやらしい音が…ん、んつ…はあつ…立つているだろう？ それだけ…んつ、んうつ…んーつ…私の中が潤つてている証よ…。

お陰で…あああうつ…！ んつ、んう…ふうつ、ン…初めてお前が挿入した時と比べ…んつ…はあ、ふうつ…んつうつ、ン…痛みも減つた…。ああつ、ふうつ…んつ…もちろん、全く痛

みがないわけではないが…んう…はあつ、ふふつ…んうつ、ン…大丈夫だ。お前は…ただ…ん、はあつ…ん、んうつ…ああつはあつ…己の欲望に忠実に…ふうつ、ン…ああつ、はあ…んつ…！ はあつ、うつ…ふうつ、ンツ…腰を打ち付ければよいのよ。

ふふ…んつ…ああ、もつと…動きなさい、私は…お前の全てを受け止めたくて…んうつ、ん…ああつはつ、ンウツ…契りを結ぼうと提案をしたのだからなあ…。

SE:さらに激しくなつてくる

(若干強がり) ふうつ…ん、んうつ、はあ…んうつ、ん、ひいつ、ふうつ、んつ…ううつ、んつ…はあつ、あ…お前の性器の形が手に取るようになります…はあ…んつ、ンツンツ…ふうつ、ンーツ、はあつ…ううつ、ン…今、どのくらいまで大きくなり…硬くなつて…いるのか…ああつ、ふうつ…ん…反対に…射精して力を失つた、とな…。

ほれほれ…んう…ああつ、んつ…ふうつ、ン…また力が増して來たな？ ふふ…そのまま…(余裕なく) んうつ、ああつはあつ…引き続き…はあつ、んうつ、ふうつ、ン…あああつ、はあつ…気持ちのよいところを…んつ、ふうつ…ゴリゴリと…ああんつ！ …ふうーう…ン…刺激してくれ…。

SE:ラストスパート

ああんつ、ああつ…ふうつ、ん…ああ、そうちだ、そこおつ…そこがよいのだあ！

んうつ…ああつ、はあ…ふうつ、ンツン…ああつ、はあつ…お前も…よいかあつ？

ううつ…んつ、はあつ、ンツン…ああつ、はあ、ひいつ、ふつ、んつ…ああつ、ああひいつ…うつ…！ なんて…口にせざとも…ああんつ…わかる、か…んう、はあつ、うつ…お前も気持ちよいよな…んつ、ああつ…はあ、ふうつ…んつ、余裕がなさそうにいつ…んつ、はあつ…激しく腰を打ち付けてえつ…んつ、はあつ、いいつ…ふううつ、ン…ンツはあつ…。でもお…ああつ、んうつ、ふう…まだ…んつ、はあつあ…んつふう…射精しては…ん、はあつ…ならぬ…んつ…はあつああつ…私と…んうつ、ふうつ、ん…ああつ、はあつ、ん…共に…んつああつはあ…果てようぞ…！ んうつ…ああつ、はあ…ああんつ…！

(余裕がなさそうに恥じらう) ふふうつ…んうつ、ああつ…あ…やあつ、だが…もうう…私は限界…だあつ…あんつ、んうつ…！ すぐにでもお…あんつ、はあ、果てて、しまううううつ…！ んつ、ああつ…はああ…んうつ、ふうつ…ああん…ああ…。

(余裕がなくなつた様子で) ううつ…ああつ、やあつ…はあつ、う、んうつ…んつん、つ…んつ、んつはあつ、んう…！

あつはあつ…んつ、もおつ…だめ…いつ、くうつ…うつ、ンツ…ああつ、はあつ、んつ、ん…ああつ、ああ…（果てる）あああーつ！

SE:射精音

(恥じらい吐息) …ああ…あ…ふうー…うつ、ん…。

(満足そうに)ふふ…膣なかが…実に熱くて…お前と、契りを結べたのだと…実感ができるぞ。

だが…もう、今日はこれでしまいだ、なあ…。

初めてにしては…すごく濃厚な…行為だつたぞ…。

FO

トラック6 .. 事後

SE:シャツが擦れる音

(恥じらい) 今日は初めてのことばかりで、…ついつい恥じらいが出てしまって いたよ。最後の方だつて…本当は、私がお前を快樂に導いてやりたかったのだが…なかなか上手くいかず、なすがままだつたな。

SE:衣擦れなど、寝返りの音

(幸せそうに) んう…しかし…初めての相手がお前で…本当によかつたぞ。実際に幸せな時間だつた…。

なんて…私は何をしんみりとしているのだろうな。心からお前を求め…契りを結べたからか?

もしも、何のきっかけもなく…元の世界に戻ることになつてしまつたらと思うと…不安、なのがな…。

(キス) ちゅーっ…ん…っ、んうっ、ン…。

何かの拍子に…お前にもう二度と触れられない日が訪れてしまつたら…私は堪えられないよ。

お前は…どうだ?

私と契りを結べて…嬉しかったか? 心の底から満足…できたのか?

ふふ…お前は優しいからな、そう言つてくれると踏んでいたよ。

…ありがとう…。

私が元の世界に帰つてしまふその日まで…よろしくな。

…ふふ、やはり私らしくはないな! こんなにしんみりとしてしまうのは!

よーし、私の胸を貸してやるから…今日はもう寝るぞ!

それに…明日は仕事が休みだと言つておつたな?

ならば…一日中、私とともにいること! よいな?

契りを結んだ者同士は、命を落とすまでともにいるのが、私がいた部族のしきたりなのだ!

(悲しげにつぶやく) 私とお前とでは…どうなるかはわからないがな…。
(明るくキス) ちゅーっ…ふふ、おやすみ。ともにいい夢を見ようぞ。